

平成 28 年度第 2 回（第 10 期）浦安市廃棄物減量等推進審議会（議事要旨）

1 開催日時 平成 28 年 9 月 30 日（金）午前 10 時 00 分～午後 12 時 00 分

2 開催場所 浦安市クリーンセンター 2 階 大会議室

3 出席者

（委員）

下田会長、畑山副会長、篠原委員、中尾委員、宮下委員、崎野委員、道下委員、
國府委員、志村委員、荒井委員、平林委員

（事務局）

大塚都市環境部長、仲谷都市環境部次長、熱海ごみゼロ課長、林崎クリーンセ
ンター長、堀木課長補佐、太田代主査、石井副主査、瀬能尾主事、(株)うらやす
E サービス阿部統括所長

4 議題

(1) 審議事項

- ア. クリーンセンター、リサイクルプラザ等の見学
- イ. 施設の現状と課題等について

(2) その他

5 議事の概要

- (1) 大塚都市環境部長、下田会長あいさつの後、事務局より本日の審議内容
の流れを説明。
- (2) DVDの鑑賞、ごみ処理施設及び再資源化施設の見学を行った後、質疑応答、
そしてセンター長による施設の現状と課題について説明後、審議を行った。

6 会議経過

浦安市廃棄物減量等推進審議会規則第 3 条第 1 項により、会長を議長とし、
会長が議事を進行した。

クリーンセンター太田代主査と阿部統括所長の説明により、以下の場所の見学を行った。

- ・中央制御室及びごみクレーン操作室
- ・プラットホーム（ごみ検査）
- ・再資源化施設（紙・ビン・ペットボトル・缶）
- ・ビーナスプラザ

○見学を終えての感想・意見・質疑について

- ・委員 事業者から排出されるごみが酷く、ペットボトルの分別も徹底されておらず問題ではないかと感じた。
- ・委員 事業系の処理許可業者としてもどうしていくかが課題である。きちんと分別している事業者もあるが、そうでない事業者もある。案として、全てをごみとして扱ってしまっている事業者を対象とした見学会も行い現実を知ってもらうことも必要ではないか。
- ・会長 事業者向けの見学会は可能なのか。
- ・事務局 前回第9期の審議会の中で平成27年度に事業系のごみの観点でマニュアル作りの提案をいただき、現在Eサービスとセンター、ごみゼロ課で協議しながら作り上げている。
しかし市の方だけで指導してもただちに実績を上げるのが難しいので、収集業者と協力しながら行っていく必要があり、マニュアルが出来上がった段階で、許可業者と協議をしていきたい。
またその時点で事業者への指導と併せ、センター見学も呼びかけることはできるものと考えている。
- ・会長 事務局側でマニュアル作りも行っているということで、これに基づき今後指導と協力をお願いをしていくという形になっていくと思う。
その観点からも、センターの見学や排出状況の実態も見ってもらうことは可能なのかと思う。
浦安市は罰金を科すことはなく、協力をお願いして、自発的に行っていただくという、ソフトな形での対応をしているので、そ

ういう意味ではこれから本日見学した現状を踏まえながら、どう指導していくか、どの様な協力を求めていけば良いのかを議論していければと思う。

- ・会 長 他にご質問はないか。
- ・委 員 企業の方から見学をお願いしたい場合も受け入れてもらえるのか。また、費用や人数についても教えていただきたい。
- ・事務局 見学については日程が合えば可能である。
費用は無料であり、人数も会議室に入れるくらいであれば可能である。
- ・委 員 浦安市民、事業所を代表して参加している立場として、ホテルリゾートエリアの企業の方にも見学会の声掛けをしていきたい。
- ・委 員 重い荷物を抱えている現場作業員を見かけたが、体への負荷は大丈夫なのか
- ・事務局 再資源化施設の作業環境は年2回見直しを図っており、重い荷物に関してはクレーンを設置し、それを使うことによって腰への負担を軽減している。また作業音については耳栓で対応している。
- ・会 長 続いて2つ目議題、「施設の現状と課題について」林崎センター長より説明願いたい。
- ・事務局 現状については、長期包括責任業者である株式会社Eサービスで維持・修繕を行っており綺麗な状態が保たれている。
しかしながら、施設自体は既に22年目に入ろうとしており、当初の24年に作成された中長期計画の中では建設後20年で建て替えることが謳ってある。工場等については鉄筋コンクリートの建物の場合、指針によると30年が寿命だろうということになっているため、本年度より中長期計画の見直しとスケジュールについて検討に入れるような予算を計上している。
今後いつまでこの施設を使っていくのか、またリサイクルのヤードの裏にある空き地が次期クリーンセンターの建設予定地であるが、今後どのようなものを建てるかということを検討していくということが大きな課題になっていく。

また、ごみ量の推移の資料を簡単に説明すると、大きくは変わっていないが、人口が増加した割には、ごみの量は減ってきている。

しかし今後さらに浦安市の人口が増えるに連れ、家庭ごみの量も増えることが予測されるため、それも大きな課題であると考えており、今後もごみの減量に努めていきたい。

また企業のごみは昨年度は若干減ったものの増加傾向にあるため、企業にも施設の見学をしていただき、現状を知って考えることも必要であるとする。

- ・ 会 長 この審議会自体が事業系ごみの減少と家庭ごみを如何に減らしていくか、また再資源化を進めていくかということである。
 他にご意見等はあるか。
- ・ 委 員 ペットボトルの件について、家庭からのものは綺麗に出されていると思う。しかし外出先で飲み終えたペットボトルは洗ったり、ラベルを剥がしたりしないで捨てることが多くあるので、そこでの啓発も必要ではないのか。
- ・ 会 長 今後の審議の中で委員の意見を伺いながらどのように改善していくか議論していきたい。
- ・ 会 長 他にご質問はないか、なければ本件についての審議は終了したい。

○ その他連絡事項

- ・ 事務局 次回の審議会を11月頃に予定していること。また、本審議会の報酬の支払いについても説明した。
- ・ 会 長 他にご質問はないか、なければ以上を持ちまして、平成28年度第2回浦安市廃棄物減量等推進審議会を閉会する。
 委員の皆様のご協力により、本日予定していた審議を終了することができたので、お礼を申し上げたい。